

FILE.

68

株主の皆様へ
第68期決算報告書

平成27年3月1日～平成28年2月29日

株式会社 リヒトラブ 証券コード: 7975

LIHIT LAB.

良い品はお徳です



ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたびの熊本・大分地震により被災された皆様には、心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

さて、当社グループの第68期(平成27年3月1日から平成28年2月29日まで)の決算にあたり、事業の概況をご報告申し上げます。



代表取締役会長 田中 経久 代表取締役社長 田中 宏和

■ 当期の経済・市場環境

当連結会計年度(平成27年3月1日～平成28年2月29日)の我が国経済は、円安や米国経済の回復等により企業業績の改善が進み、雇用環境も好転しましたが、個人消費の低迷や新興国経済の減速による影響等により、景気の回復は緩やかなものに止まりました。また、期末にかけて株価の下落や外国為替市場における円相場の不安定な動き等もあり、不透明な環境で推移いたしました。

当業界におきましては、回復の兆しが見られるものの、顕著な改善までには至っておらず、加えてコスト上昇の影響が継続しており、厳しい市場環境が続いております。

■ 当期の取り組み

このような状況のもと、当社グループでは、事務用品等事業において「良い品はお徳です」をモットーに、パーソナルユースを中心とした製品の拡充、魅力ある新製品を積極的に投入してまいりました。

新製品シリーズでは、コンパクトな二穴パンチ、コンパクトパンチが、各種メディアから注目され、売上増に寄与しております。また、見出しがフラットになって表紙と一体化した新デザインファイルAQUA Window(アクアウィンドウ)シリーズ、インテリアと共存するファイリング製品noie-style(ノイエスタイル)シリーズを発表いたしました。既存の1/3(ワンサード)インチピッチシリーズでは、ツイストノート(デザイナーシリーズ)を数量限定で発売いたしました。SMART FIT(スマートフィット)シリーズでは、バッグ&ポーチの新シリーズACTACT(アクタクト)を発表し、THE DESIGN MIND COMPANY(ザ デザイン マインド カンパニー)では、画用紙の差し替えができるスケッチブックを中心とした画材シリーズART SERIES(アートシリーズ)を新たに投入いたしました。

この結果、事務用品等事業は、新製品の投入や海外売上上の増加、一部製品の値上げ効果の示現等により増収となりました。また、不動産賃貸事業は、テナント賃貸収入等の減少により減収となりました。

■ 当期の業績

以上により、当連結会計年度における売上高は、93億5千1百万円(前連結会計年度比1.8%増)となりました。

利益面につきましては、ベトナム生産子会社における部材の内製化や製品の生産増強、原材料等の調達先の見直し等による製造原価の低減を推進し、経費の抑制に努めましたが、売上高が通期予想額に達しなかったことに加え、円安の影響による製品調達コストの高止まりが継続したこと等により6千5百万円の営業損失(前連結会計年度は営業損失3千6百万円)、期末にかけての為替相場の変動により為替差益計上額が大幅に減少したこと等により6千5百万円の経常損失(前連結会計年度は経常利益2億円)、当期純損失は5千6百万円(前連結会計年度は当期純利益9千1百万円)となりました。

■ 次期の見通し

次期の見通しにつきましては、国内経済は企業の設備投資や個人消費の伸びが期待されますが、緩やかな回復に止まるものと予想されます。事務用品業界におきましては、パーソナル需要は堅調な推移が見込まれますが、法人需要は低調な推移が見込まれ、為替相場もやや円高に振れたとはいえ原材料、製品の調達コストは高止まりした状況が続く等、依然として厳しい状況が予想されます。また不動産の賃貸市場は、大阪市のテナント需要は引き続き盛り上がり欠ける状況が続くことが予想されます。

当社グループは新市場の開拓や新製品の開発強化を進めるとともに、喫緊の課題である円安により高騰した製造コストの低減を早急に実現できるよう生産体制の整備を推進していきます。

平成29年2月期の連結業績予想につきましては、売上高97億円(3.7%増)、営業利益2億4千万円(当連結会計年度は営業損失6千5百万円)、経常利益2億5千万円(当連結会計年度は経常損失6千5百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益1億5千万円(当連結会計年度は当期純損失5千6百万円)を見込んでおります。

Photo:本社ビル1階 DMCスタジオ

新製品シリーズ

ピックアップアイテム



進化のカタチ

定番商品に改良を加え続ける「深化」と
成長分野に新規参入する「新化」が新しい価値を生みだします。

「デザイン・機能」は **深化** する。

AQUA Window

見出しがフラットになって
表紙と一体化した
新デザイン・
AQUA Windowシリーズ。

多彩なカラーバリエーション
白 赤 黄 黄緑 青 黒

背見出し紙を
表紙裏側に
差し込む新機構

背見出しと表紙が
フラットで、すっきり・
スマートなシルエット

さらに見やすく、
キレイが長持ちする
新機構採用！

レバーを押し
下げるだけで
リングが開きます

▲クリヤーブック ポケット交換タイプ

「市場」は **新化** する。

水彩画を描く人に
新たにご提案。

今までになかった画用紙の差し替えができる
「スケッチブック」を中心に、独自の長を備えた
アートシリーズ(ART SERIES)を投入します。
弊社が長年に渡り培ってきたノウハウを
画材市場参入に活用しています。

THE
DESIGN MIND
COMPANY

ファイルづくりで
培った、ノウハウが
詰まっています。

noie-style

インテリアと共存するファイリング
—OfficeでもHomeでも
インテリア感覚で選びたい—

インテリアと
調和する
デザイン志向の
新シリーズ！

インテリアに合う見出しデザイン

色分類
シール
ラベル

請求書

ラベルをそのまま
挿入して使用。

見出し上部のフタを開
ければ見出し紙の差し
替えができます。

付属の分類シールを使えば見出しで色分類が
できます。

ホルダーキープサイズ設計

ファイルの表2面にクリ
ヤーホルダーが入る「ホルダ
ーキープ」ポケット。ハガキ
やメモを入れても抜け落ちに
くいフラップ付き。

クリアーホルダーが入るポイント
「ポケット折り返し溶着」。

スケッチブック

今までになかった、綴じ具が開いて
中の画用紙が差し替えできる
スケッチブック。

専用水彩画用紙
画用紙は、ミューズ社製300g/m²
水彩画用紙「ホワイトワトソン」使用

描いた絵は抜き取って必要な枚数
だけ持ち運びができます。

ポータブルケース
for ウォーターカラー
今まで別々に持ち運んでいた絵画用品をひとまとめ。
軽量の持ち運びに最適。

ディスプレイブック
表紙は絵が飾られているような
額縁をイメージ。
ポケットは差し替え可能。

ブラシケース
筆先が傷みにくい工夫を
した筆収納ケース

ストレージケース
未使用の画用紙や作品の一時保管に最適。
ふたが大きく開くので出し入れスムーズ。

マーカーケース
12本のマーカーが携帯
できるケース。

アップリクス・新製品紹介

事務用品等事業

連結売上高 9,012百万円 構成比率 96.4%

ファイル部門

33.0%

[業績の概況]

法人需要は、総じて伸び悩んだものの、ルーパーファイル、リングファイル、カラークリアーホルダー、パンチレスファイル<HEAVY DUTY(ヘビーデューティ)>、リクエスト・D型リングファイル等は、堅調な売上となりました。その結果、ファイル部門の売上高は30億8千1百万円(前連結会計年度比1.0%増)となりました。

[部門紹介]

ファイリングの用途に応じた様々なタイプのファイルを展開しています。しっかりととじることができる「穴をあけてとじるファイル」と、クリアーホルダー等のような整理に便利な「穴をあけずにとじるファイル」に区分されます。

主要製品

クリアーホルダー、リングファイル、パンチレスファイル、ボックスファイル、パイプ式ファイル

バインダー・
クリアーブック部門

22.4%

[業績の概況]

リクエスト・クリアーブック<ポケット交換タイプ>、AQUA DROPs(アクアドロップス)シリーズのクリアーブックフラット、クリアーポケット、1/3インチピッチシリーズのツイストノートが好調を維持いたしました。その結果、バインダー・クリアーブック部門の売上高は20億9千2百万円(前連結会計年度比2.1%増)となりました。

[部門紹介]

ノート・多穴リングバインダーやクリアーブック等を展開しています。当社のクリアーブックはページめくりがスムーズな製本タイプのクリアーブックをはじめ、高透明ポケットタイプ等豊富なバリエーションが揃っています。

主要製品

ノート、バインダー、クリアーブック、コンピューターバインダー



収納整理用品部門

28.7%

[業績の概況]

機能を充実させた机収納シリーズの机上台、SMART FITシリーズのキャリングポーチ、キャリングバッグ、バッグ・イン・バッグ、ペンケースが好調に売上を伸ばしました。その結果、収納整理用品部門の売上高は26億8千2百万円(前連結会計年度比6.6%増)となりました。

[部門紹介]

書類、文具等の持ち歩きに便利なバッグ、様々なものの収納に便利なクリアーケースや、デスクトレイ、クリップボード等を展開しています。軽くて丈夫な持ち運びのしやすさを実現したバッグや、スケルトンタイプのおしゃれなバッグ等様々な製品を揃えています。

主要製品

バッグ、
クリアーケース、
クリップボード、
カードホルダー、
デスクトレイ、
机上用品



その他事務用品部門

12.3%

[業績の概況]

新製品のコンパクトパンチが売上を伸ばしましたが、病院向けメディカル用品等をはじめとする既存製品の売上が総じて伸び悩み、その結果、その他事務用品部門の売上高は11億5千5百万円(前年同期比4.1%減)となりました。

[部門紹介]

書類に穴をあけるオートパンチやペーパードリル、針を使わずに仮綴じできるステープレス、医療機関でのカルテ整理に適したメディカル用品等を展開しています。

主要製品

オートパンチ、
ペーパードリル、
製本用多穴パンチ、
メディカル用品



不動産賃貸事業

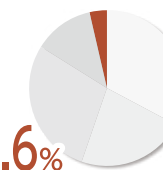
連結売上高339百万円 構成比率 3.6%

[業績の概況]

不動産賃貸事業は、引き続き市況低下の影響が続く中、本社ビルの貸室稼働率が低下したこと等により、売上高は3億3千9百万円(前連結会計年度比7.1%減)となりました。

3.6%

連結子会社 大江ビルサービス(株)が、大江ビル(本社)、大阪配送センター等の不動産管理を行っています。



連結貸借対照表

単位(百万円)

	当連結会計年度末 (平成28年2月29日現在)	前連結会計年度末 (平成27年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	5,726	5,361
固定資産	7,514	7,788
有形固定資産	6,165	6,432
無形固定資産	43	51
投資その他の資産	1,305	1,304
資産合計	13,241	13,149
負債の部		
流動負債	2,315	1,964
固定負債	2,430	2,587
負債合計	4,746	4,551
純資産の部		
株主資本	8,065	8,208
資本金	1,830	1,830
資本剰余金	1,411	1,411
利益剰余金	5,222	5,364
自己株式	△398	△398
その他の包括利益累計額	429	389
その他有価証券評価差額金	361	338
繰延ヘッジ損益	0	7
為替換算調整勘定	206	171
退職給付に係る調整累計額	△138	△128
純資産合計	8,495	8,597
負債・純資産合計	13,241	13,149

(注)記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

単位(百万円)

	当連結会計年度 自 平成27年3月1日 至 平成28年2月29日	前連結会計年度 自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日
売上高	9,351	9,186
売上原価	6,648	6,422
売上総利益	2,702	2,764
販売費及び一般管理費	2,767	2,801
営業損失(△)	△65	△36
営業外収益	41	271
営業外費用	40	34
経常利益又は経常損失(△)	△65	200
特別利益	-	-
特別損失	4	4
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前当期純損失(△)	△70	195
法人税、住民税及び事業税	35	95
法人税等調整額	△48	8
少数株主損益調整前当期純利益 又は少数株主損益調整前当期純損失(△)	△56	91
当期純利益又は当期純損失(△)	△56	91

(注)記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

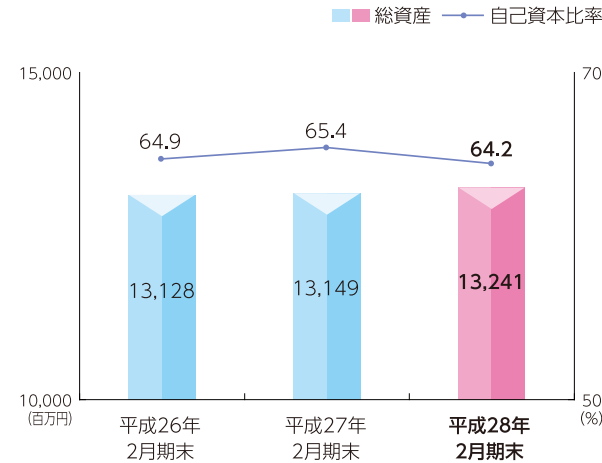
連結キャッシュ・フロー計算書

単位(百万円)

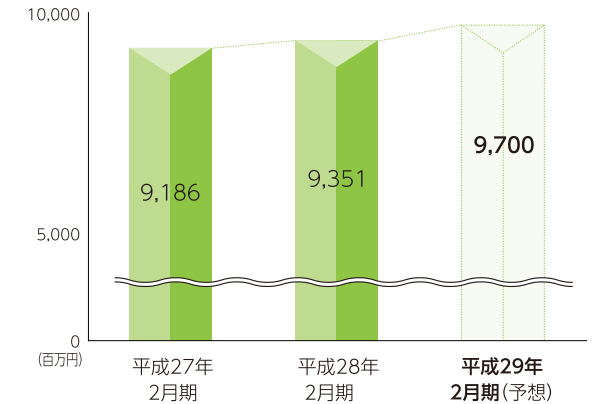
	当連結会計年度 自 平成27年3月1日 至 平成28年2月29日	前連結会計年度 自 平成26年3月1日 至 平成27年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	308	154
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149	△265
財務活動によるキャッシュ・フロー	41	△299
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	199	△396
現金及び現金同等物の期首残高	824	1,221
現金及び現金同等物の期末残高	1,024	824

(注)記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

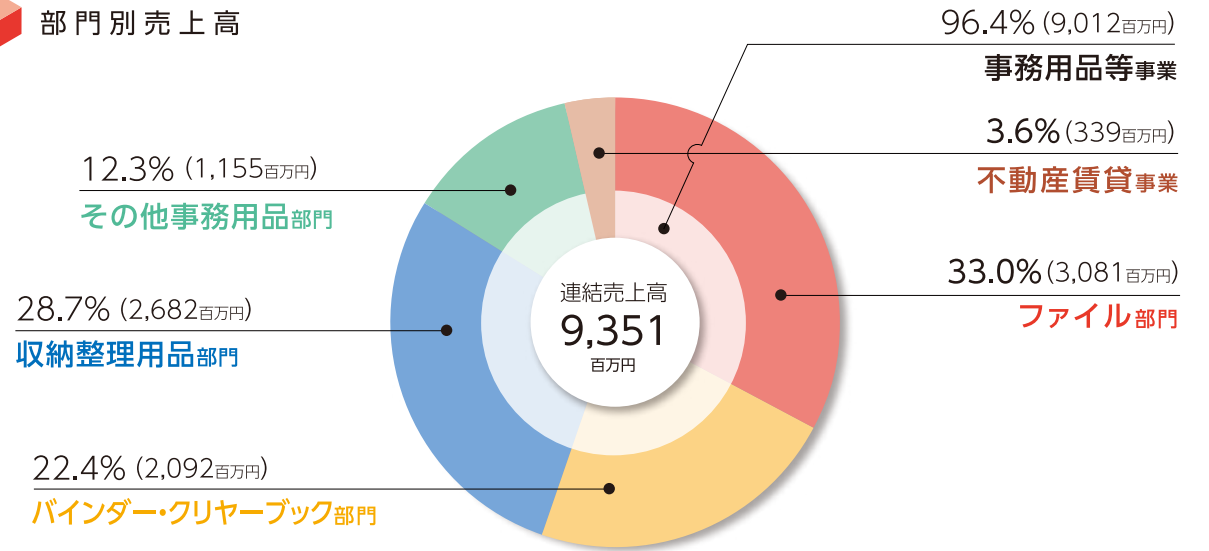
総資産・自己資本比率



売上高



部門別売上高



会社概要

(平成28年2月29日現在)

商号	株式会社リヒトラブ (英文名 LIHIT LAB., INC.)
創業	昭和13年5月
設立	昭和23年5月
資本金	18億3000万円
事業内容	事務用品の製造・販売および不動産の賃貸
従業員数	168名
ホームページアドレス	http://www.lihit-lab.com

役員・執行役員

(平成28年5月26日現在)

代表取締役会長	田中 経久
代表取締役社長	田中 宏和
常務取締役	大内 高明
常務取締役	道家 義則
取締役	田中 収一
取締役	有本 佳照
取締役*	古谷 勝紀
監査役(常勤)	上野 鉄二
監査役(常勤)	青木 司
監査役*	山下 忠雄
監査役*	和中 修二
専務執行役員	田中文 浩
執行役員	森下 世紀雄
執行役員	樋上 誠治
執行役員	室田 徹紀
執行役員	後藤 文宣
執行役員	安達 和史
執行役員	早川 大介

(注)※印の取締役は社外取締役、監査役は社外監査役であります。

事業所

(平成28年5月26日現在)

本社	〒540-8526 大阪市中央区農人橋1-1-22
東京支店	〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町1-6-6
営業所	
■札幌	〒003-0804 札幌市白石区菊水4条2-1-6政陽ビル
■名古屋	〒460-0011 名古屋市中区大須1-6-13
■広島	〒732-0827 広島市南区稲荷町1-1ロイヤルタワー10F
■福岡	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-11 KDX博多南ビル2F
静岡事業部	〒439-0031 静岡県菊川市加茂1300-10



静岡事業部

関連子会社

(平成28年2月29日現在)

国内	大江ビルサービス株式会社 (大阪府大阪市)
海外	LIHIT LAB, VIETNAM INC. (ベトナム社会主義共和国ハイフォン市) (ISO9001, ISO14001 認証取得) (SA8000:2008 認証取得)



LIHIT LAB, VIETNAM INC.

株式の状況

(平成28年2月29日現在)

会社が発行する株式の総数: 40,000,000株
発行済株式の総数: 16,980,250株(自己株式2,098,250株を除く)
株主数: 1,753名

大株主の状況

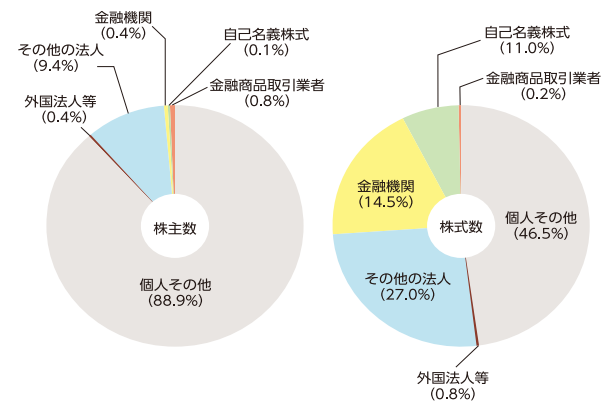
(平成28年2月29日現在)

株主名	持株数(千株)
リヒトラブ共栄会	1,523
田中 経久	843
株式会社三井住友銀行	735
株式会社三菱東京UFJ銀行	655
日本生命保険相互会社	547
明治安田生命保険相互会社	523
加藤清行	370
リヒトラブ社員持株会	360
田中 莞二	286
シーダム株式会社	244

※株主数は千株未満を切り捨て、また自己株式2,098,250株を保有しておりますが、上記大株主から除いて表示しております。

株式の分布状況

(平成28年2月29日現在)



株主メモ

事業年度	3月1日～翌年2月末日
期末配当金受領株主確定日	2月末日
中間配当金受領確定日	8月31日
定時株主総会	毎年5月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町3-6-3
TEL0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所
株式会社東京証券取引所
市場第二部
株式会社名古屋証券取引所
市場第二部

電子公告により行う。
公告掲載URL
http://www.lihit-lab.com/corporation/ir.htm

ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

LIHIT LAB.

良い品はお徳です

ホームページのご紹介

トップページ

<http://www.lihit-lab.com>

LIHIT LAB.のホームページは整理整頓に「使える情報」が満載です。



IRサイト

<http://www.lihit-lab.com/company/ir>

会社案内・IR情報がわかります。



プライバシーマーク取得

当社は、平成18年7月3日付で、財団法人日本情報処理開発協会(JIPDEC)より、プライバシーマーク付与の認定を受けました。当社は、平成17年4月1日より個人情報保護法が施行されたこととともない、個人情報の保護管理体制の構築をはかるため、全社的な取り組みを推進してまいりました。今後におきましても、個人情報の適切な保護・管理は、当社の重要な社会的責任と位置付け、継続的な従業員教育とコンプライアンス・プログラムの改善を実施してまいります。



この印刷物は環境に考慮し、植物油インキで制作しています。